



発行所 東京薬科大学 新聞会
責任者 藤村ゆりか
新聞会 会員 大募集

新聞会について

新入生の諸君、入学おめでとう。さて、君達が今手に持っている印刷物は「東京薬科大学新聞」といふ、我々新聞会の発行物である。今回は新入生歓迎特別号外という形で、新聞会について、そして我々が新聞を作る理由を諸君に知って頂きたいと思う。

自治会内部に於て客観的だといふ事は、単に内部に対して視点を持っては良いというところではない。本会は「新聞」を発行して以上の「自治会」を執行し、報道の義務があり、グローバルな視野から新聞を作らなければならぬ。その為に我々は自治会より予算を配分されているのだ。ここで、昨年新聞の主な記事を用い、具体的に新聞の活動を説明しよう。

四月から五月にかけて行われた新入生歓迎祭の様々なイベントを新入生の視点を取り入れて記事にした。

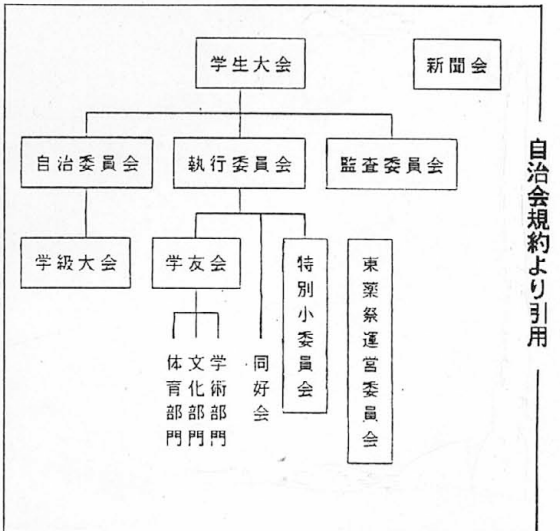
仕事内容

七月号では前期学生大会について。本学の学生大会(自治会)の最高議決機関。定例年に二回開催される。は学生の関心の低さが毎回問題となっている。新聞会では学生に大会の重要性をもっと認識してもらおうと動きかけると同時に、どうすれば学生の意見が学生大会に反映されるかについてアンケートを行った。十月号では前期報告について。

自治会規約では新聞会の仕事について次のように決められている。

新聞が出来るまでを紹介した。新聞の制作について。新聞制作は大きく四つの行程に分かれる。

十一月号は後期学生大会の事前特集。学生大会議案書は大会当日会場で初めて配布されるため、学生が自分の意見を出さない状態だった。新聞会では大会議案を紙面に掲載し、学生に真の意味での参加を呼びかけた。



執筆作業は新聞制作の基礎を成すだけでなく、新聞制作に費やされる時間のほとんどがこれに当てられる。作業の性格上、個人の技量が問われるところである。

一、執筆
二、編集
三、製版
四、印刷

会長あいさつ

日本人というものは、やはり春と聞いて出てくるものと言えはば、四月一入学式一桜とイメージが直結しているように思えます。しかし、この季節に美しくなるのは桜だけではないのです。

だかの学校一さながらです。新入生の皆さん、入学おめでとう。ごきげんよう。この東京薬科大学においでする四年の時間を何の気無しに過ごさないで下さい。色々に目を広め、色々の世界から目を転じて多くを吸収するばかりではない。吸い込んだものを吐くことも必要なことです。例えば東京薬科大学新聞です。例えは東薬に於いて、これを皆さん自身に是非活用して頂きたいの

新聞会の学生自治会内部での役割は、自治会組織の活動を客観的に評価することである。下の図を見て欲しい。これは自治会規約から引用されたのだが、新聞会が系統図から外れているのがお解りいただけると思う。新聞社が同じように、新聞会も自治会組織の印刷部門ではないのだ。

新聞会規約より引用
第六十一条 新聞会の会計は本会より個別に予算配分を行う
第六十二条 新聞会の監査委員は本会の監査委員会が行う
第六十三条 新聞会運営上の細則は別に定める

どんなに素敵なチャンスがあっても、ただ待っているだけでは何にもなりません。川の流れの側を通ってもその流れに目を向けなければ輝きに気付かない人がいるように、自分から手を伸ばさなければ見えないものは結構多いのですから。

一、執筆
二、編集
三、製版
四、印刷

二、編集
編集作業は先の執筆作業とはほぼ同時に進められる。執筆が個人レベルなら編集は執筆ブルーだ。「編集会議」の中で紙面の構成を考える。新聞を定期的に行なわれるようにすることが主なる仕事である。

三、製版
レイアウト、タイトルを決めて印刷原稿を作成するのが製版作業である。効果を出すために装飾を入れたりもする。執筆者、編集の総まとめであるレイアウト、タイトルを決める。装飾を加える
②印刷原稿を作成する
③版下を作成する
実際にレイアウトを始めると、また記事を手直ししたり差し替えたりする必要が生じることがある。視覚的な効果などをあわせて考えなくてはならないので、なかなか大変な作業である。

四、印刷
版下から版を作成し、印刷機を動かす。我が自治会には旧型印刷機しかないの。印刷はときどきマニカナル・ラブルにより一時中断することもある。難しいところだ。

このように多くの行程を経ているにもかかわらず、新聞は各クラスに配布される。新聞が一号発行される毎に、新聞会にはさらに質の高い新聞を作る努力が求められる。だが我々はこれを読む学生がいる限り新聞を発行し続けるのだ。

☆野菜は温室内物 鮮魚は輸入物でいつても手に入り、食べられるようになったためだ。今「旬」という言葉を聞くのは、ほぼスーパーの広告か新聞の家庭欄くらいしかなくなった。☆それでもやっぱり野菜・果物など山のものは、魚貝など海のものは旬がある。そして何より旬のものはおいしい☆とどこでもサークル

薬味

これが新聞会のメンバーだ

楽しき？新聞との日々

大林裕幸

はばかりながら、新聞会の面々を紹介したい。まずは本会に咲く一輪の花、F嬢だ。

川上博之

「常連」という言葉に憧れて投稿なんか始めたらしい。その間にか一万分くらいはブレゼントを雑誌からももらった。

中村昭夫

唐突ですが、巷では、階段を一段上ると、寿命が一日伸びると言われているとか。

川崎信幸

新聞会史上最も腰の低い副会長の川崎です。いつもお優しい会長様を初め他の会員の皆様にはいつも迷惑をかけて

新聞はひとつの料理である。

その味付けをあなたもしてみませんか？

部室棟2階徒歩10歩 新聞会員募集

☆春が来た！花粉が飛ぶ！うらうらな夏は暑かったからねえ。と言う理由で私は現在、ぐしゅぐしゅです。そのお陰で灰色の脳細胞はほとんど働かないし、文章は脈絡

いいうちに、そんなことを考えている自分に気がついた。ふと振り返った私の足元を、一陣の春風が舞って行く。風はせつないほどに遠い蒼空。そうして再び歩き始める度に人は大人になっていく。

三、多摩バス 今年度の授業に關して一年生は「情報処理」の課外活動として取り入れられる。詳細は今のところ未定だが、一年生の実習の行われる模様。現在、本学の実習室では98シリアルやMacといったコンピュータが活用されている。今コンピの必要性がま

新入生におくる話題三點 ますます高まる中、学生に對し情報機器等に早く慣れさせる為の学校の配慮といえる。余談だが、課目新設にともなう二年生の間で「物理」が一時立った。物理と新課程目が入れ替えられるかも、物理はそのまま続く予定。

四月行事予定 一日 新聞会執行交代 五日 入学式 六日 クラスオリエンテーション 終了後第一回編集会議(二六講義室) 新入生特別号発行